

平和の波

PEACE WAVE
FRIEDENSWELLE
VAGUE DE PAIX
OLA DE PAZ
ВОЛНА ЗА МИР
和平的浪潮

موجة السلام

Peace Wave News

Vol. 4, 2020 年 8 月 27 日

**広島・長崎 75 年に世界数百カ所で核兵器廃絶
を求める草の根行動**

8 月 6 日から 9 日、

「平和の波」世界を駆けめぐる

8 月 6 日から 9 日の期間、世界をめぐる「平和の波」行動に参加された、草の根平和グループから国際団体に至るまでの多くの方に感謝を表します。無数の行動報告・計画、写真や報道記事・動画、ウェビナーの報告が、これまでのところ 24 カ国から寄せられています。各地の行動はどれも感動と驚きに満ちたもので、核兵器のない世界をつくる平和運動の強い決意を示すものとなりました。世界各地の行動の全記録は、Peace Wave News [Vol.1](#), [Vol.2](#) および [Vol.3](#) もご参照ください。



「平和の波」風揚げ大会： 8 月 6 日、フィリピン・サンティアゴのピロネス一家が実施

日本

草の根での「平和の波」行動は日本全国全 47 都道府県数百カ所で行われました。行動の報告はまだ続いています。詳細は[原水協ホームページにて](#)。



原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）8 月 2－9 日

原水爆禁止 2020 年世界大会は、8 月 2 日に国際会議、8 月 6 日に世界大会・ヒロシマデー、8 月 9 日に世界大会・長崎デーが行われ、成功をおさめました。4 つのテーマ別特別集会も開かれ、世界中から数千人の人びとが、Zoom あるいは YouTube のライブストリーミングを視聴。発言テキストと各集会の録画は以下から。http://www.antiatom.org/english/world_conference/
連絡先：：Organizing Committee, antiatom@topaz.plala.or.jp



8 月 2 日、6 日、9 日に開かれた原水爆禁止 2020 年世界大会の全発言者。

韓国

進歩連帯: 8月6日記者会見: 「ヒロシマ・ナガサキ 75周年 – 今こそ核兵器禁止条約の批准を!」 / オンラインセルフィーアクション

右の写真は、「今こそ核のない平和な朝鮮半島を! 世界から核をなくそう!」「韓国政府と世界の政府は核兵器禁止条約に批准を!」というプラカードを持った人々が8月6日から9日の間に撮ったものです。フェイスブックなど SNS に投稿しました。韓国の人々も平和の波行動を担うことができ大変うれしく思います。ぜひこれらの写真をシェアしてください。2020 年原水爆禁止世界大会の成功のために力を尽くしていただいた皆様に感謝します。これからも核兵器のない世界に向けてとともに、頑張っていきましょう。

連絡先: : Kim Jinyoung, psspky@gmail.com

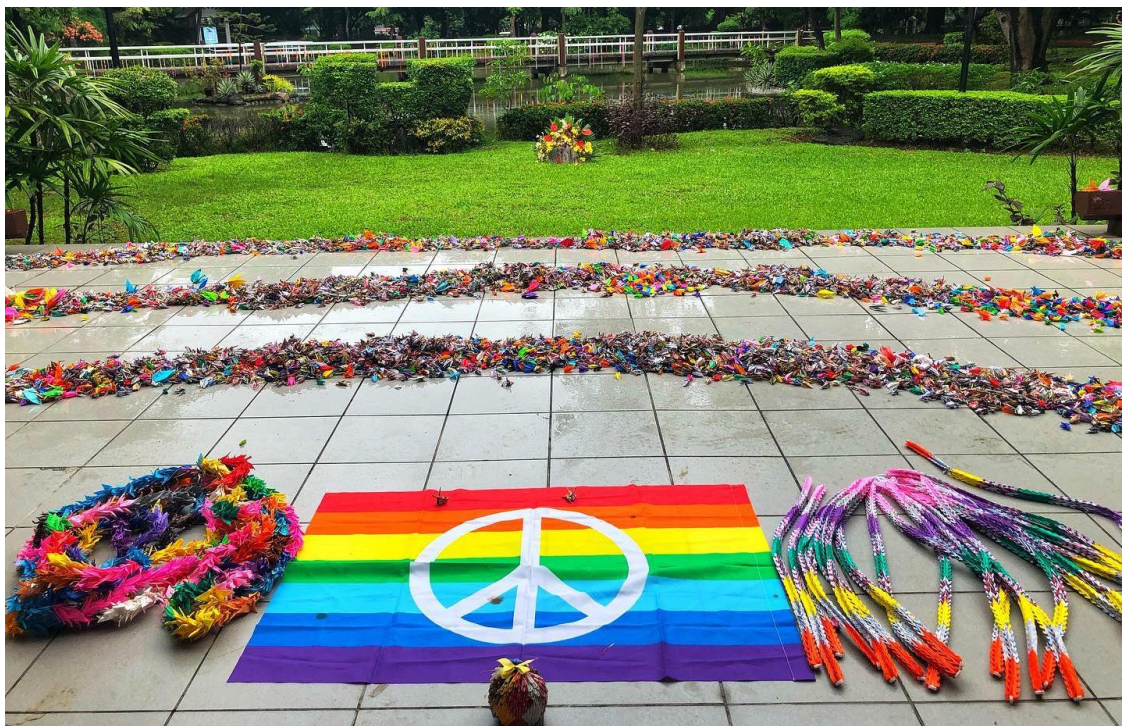
フィリピン

Peace Wave Philippines (平和の波フィリピン) による 8月6日から9日の記念行動

平和の波フィリピンは、8月6日から9日にかけて75周年を記念する様々な特別プログラムを開催しました: ルネタ公園にある日本庭園を管理する国立公園開発委員会の協力のもと、8月6



#2020원수폭금지세계대회 #PEACEWAVE2020



日から 9 日にかけて [Nurturing Bridges of Peace](#) にて平和祈念式典や折り鶴づくり、[灯籠流し](#)などを行いました。行動の様子は右のリンクから: <https://www.facebook.com/PeaceWavePh>.

連絡先 : : Albert alozada@greenpeace.org; AG, agsano2000@yahoo.com; Malaya, malayavfabros@gmail.com

平和女性パートナーズ: “女性たちの声、新しい世界への女性たちの誓い”, 8 月 8 日

平和の波フィリピンの企画として、ヒロシマ・ナガサキ 75 周年を記念しオンラインフォーラム: 「女性たちの声、核兵器のない世界への女性たちの誓い」を開催しました。発言者として、貞清百合子さん（広島の被爆者）、平野恵美子さん（新婦人国際部長）釘宮延恵さん（兵庫県原水協）、ニルプマ・パラカシュさん（インドニューデリーにあるアミティー大学社会科学部長が参加。右のリンクからユーチューブで視聴できます。 <https://youtu.be/uaJWG1cbP4k>

連絡先 : : Merci Llarinas-Angeles icwps2016@gmail.com

インド

宇宙空間における兵器および原子力に反対するグローバルネットワーク（インド）

8 月 6 日・9 日に地球と宇宙環境での核兵器の禁止を求める平和デモがヴィンシャーカパトナム（アーンドラプラデーシュ州）にあるガンジー像前で開催予定です。（主催者 : Prabhakar Jalluri, prabhakar.jalluri@gmail.com）8 月 6 日には核兵器の危険性を訴えるパンフレットを配布します。

連絡先 : : J.Narayana Rao (Director), jnrao193636@gmail.com

ネパール

ネパール AAPSO: ヒロシマ・ナガサキ 75 年記念日

ネパール AAPSO がヒロシマ・ナガサキ 75 年記念日に開催したプログラムでは、同会の委員長であるヒラニヤ・ラシュレッサが完全軍縮の必要性和世界の平和にむけて発言しました。核が専門の科学者であるトゥルシ・パサック博士は核兵器の破壊性と広島・長崎での使用、そして世界の「核武装化」について語りました。前大臣であるクリパサー・シュレタ氏は非核と世界平和への原水協の活動に感謝するとともに、南アジアの非核地帯化の必要性を強調しました。ネパール AAPSO のゴパール・ポカレル・ビワッシュ氏は「ネパール市民は、南アジアでの核軍備競争の脅威のもとで暮らしている」と発言しました。 たくさんの核に関する写真も展示されました。

連絡先 : : Nepal AAPSO, nepalaapso@yahoo.com

フィンランド

PAND -フィンランド 核軍縮のための表現者・芸術家たち

8 月 6 日にヘルシンキにて「平和のため、大量破壊兵器に反対」という灯籠流しが行われました。 <https://www.facebook.com/groups/8435786519/permalink/10158778352746520/>

連絡先 : : PAND, pandtalo@hotmail.fi

ノルウェー

ヒロシマデー記念礼拝：オスロ大聖堂（8月6日）

8月6日、オスロ大聖堂においてヒロシマデー記念礼拝が行われました。礼拝の様子はリンクから視聴可能（ノルウェー語）。真弓美果さんの独唱も。

<https://www.facebook.com/oslodomkirke/videos/1165047100544326/>

リトアニア

トラカイ・ロータリークラブによる原爆写真展（8月4日～11日）

Vytine 号（トラカイ城の近く）にて原爆写真展を開催しました。

連絡先：Gediminas Rimdeika, j.g.rimdeika@gmail.com



ドイツ

ヒロシマ・ナガサキ 75 年：核兵器禁止を今こそ！

広島に原爆が投下され、10 万人以上が犠牲になった日から 75 年の今日、180 以上の平和イベントが今日もしくは後日開催される予定です。日付などの詳細はウェブサイト（www.hiroshima-nagasaki.info）に記載します。

地域の平和グループによって開催される 180 のイベントは the Friedenskooperative network のカレンダーでも確認できます。多くの人々が街頭に出て、訴えることで核兵器の禁止は実現できます。[詳細はここをクリック](#)

連絡先：Netzwerk Friedenskooperative, friekoop@friedenskooperative.de

オランダ

PAX: オランダ国内都市における記念行動とマルク・ルッテ首相への署名活動

先週、[Almelo](#) 市から [Zouterwoude](#) 市にいたる 10 もの都市で、広島・長崎の犠牲者を追悼し、ヒバクシャに敬意を表すための様々な活動がなされました。いくつかの都市では折り鶴が折られ、何千人もの人々がマルク・ルッテ首相に対する署名に協力しました。議員や市民団体、青年政党、宗教者コミュニティのメンバーたちが核兵器に反対の声をあげました。

オランダ政府は沈黙していますが、国連事務局長の[アントニオ・グテーレス](#)、[国際赤十字 \(ICRC\)](#)、[ローマ教皇](#)、[ジャシンダ・アーダーン](#) ニュージーランド首相など他国の政府は声をあげています。アイルランド、ナイジェリア、ニウエ、セントクリストファーネイビスのリーダーたちは核兵器禁止条約に批准し、真のリーダーシップを見せています。

オランダ国内の何千人もの人々が、マルク・ルッテに対して核兵器の非人道性を認め、この 75 年の年に「二度と繰り返さない」と決意することを求める署名に協力してくれました。取り組みの様子は[こちら](#)。ヒバクシャのお話と核兵器に反対する闘いにおいて彼ら彼女らが発揮している勇気あるリーダーシップに励まされながら、オランダが禁止条約に批准し、核兵器がなくなるまで私たちは今後も頑張ります。Susi, Remco, Maaïke & Jill

連絡先 : PAX, nukes@paxforpeace.nl

ベルギー

Vrede (平和): 8 月 6 日記念音楽祭と 8 月 4 日灯籠流し

ベルギーでは 8 月 6 日に原爆の被害者にむけて音楽祭を開催しました。取り組みの様子は[こちら](https://vrede.be/nieuws/muzikaal-eeerbetoon-aan-de-slachtoffers-van-de-atoombom-0)。またフェイスブックでもライブストリームが視聴できます: [こちらをクリック](#)

また町中に展示したヒバクシャの証言や写真(下記)を SNS に投稿したところ、ベルギー国内の多数の団体が拡散してくれました。8 月 4 日には、[灯籠流し](#)も行われました。

連絡先: Maud Martens, Vrede vzw maud@vrede.be



スイス

アンリ・デュナン博物館 (ヘイデン) のナガサキ平和の鐘にてナガサキデー記念イベント

10:30-11:30, 8 月 9 日 ナガサキ平和の鐘は長崎の[浦上天主堂](#)にあった鐘のレプリカです。浦上

天主堂は 1945 年 8 月 9 日の原爆投下により破壊されましたが、5 つ鐘のうち 1 つだけが残し、その音色は平和・命そして核廃絶への希望を象徴しています。ヘイデンにあるナガサキ平和の鐘は国際赤十字の創設者であるアンリ・デュナンの功績をたたえて長崎市から 2010 年に贈られたものです。鐘は長崎の被爆を慰霊し、平和と核廃絶への祈りとして毎年 8 月 9 日に鳴らされています。プログラムのスピーカーとして、核戦争防止医師会議のメンバーたちやバーゼル平和オフィスのマルツァン・ノーツァン（カザフスタン）らが発言します。

https://www.dunant-museum.ch/de/wp-content/uploads/2020/03/flyer_PeaceBell_9aug20.pdf

連絡先： : Physicians for Social Responsibility Swiss, sekretariat@ippnw.ch

フランス

ヒロシマデーアクション（ブレスト、ブルターニュ）などフランス平和運動によるフランス国内の「平和の波」行動



8 月 6 日、ブルターニュのブレストにある原水力潜水艦基地の前に平和活動家たちが集まり、ヒロシマ・ナガサキ 75 年を記念し、フランス政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求めました。取り組みの写真は[こちら](#)。「平和の波」行動は[レンヌ](#)でも取り組みました。ニュースレターは全国 4 万人の会員のほか 1994 の団体、すべての議員に送られフランス政府に核兵器禁止条約の批准を求めまし



た。[“ヒバクシャ国際署名”](#)もウェブサイトで集めています。8月には原水協から贈られた原爆組写真を使用した[「平和の波」原爆展示](#)も開始されました。

連絡先：：Roland Nivet, roland.nivet@mvtpaix.org

ヒロシマ・ナガサキ記念式典 in リュネビル

リュネビルの平和活動家は、ヒロシマ・ナガサキの核の悲劇を思い起こし、フランス平和運動とともに核兵器禁止条約への批准を求めデモを行いました。8月7日に最初の集会を町議会の前で行い、暑さにもかかわらず10名ほどが集まりました。2回目（写真）は、レオポルド広場に夕方19時集まりました。8月でしたが、20名ほどの支持者が呼びかけに応じてくれました。灯籠を置いてヒロシマ写真展を開催。これらは即興でしたがもう一度やっても良いのではと思っています。夜10時ごろまで続けました。

連絡先：：Patrick Falgas, pfalgas@orange.fr



オード平和委員会による平和行進（コース・ミネルヴォワ）8月9日

ヒロシマ・ナガサキを記念する平和行進として今年で3回目となるハイキングが行われ、参加者



はコーヌ・ミネルヴォワ市当局の歓迎をうけました。行進者たちは朝の 8 時半までにアビーガーデンに集合し、歩き始めました。オード平野を過ぎ、アラリック、コルビエール、ピレネー山脈などを見渡せるところまで村中を行進しました。村に戻ったのち、ジャン・ルイ・プチ市長、クリストフ・ヴァレンヌ補佐官そして平和を愛する友人たちの歓迎を受けました。市も彼らを歓迎し、この行進の目的に賛同の意を示してくれました。オード平和委員会のバーナード・ギルス委員長はこの日の意味を改めて述べるとともに、自治体や地域議会の協力に感謝の意を表しました。午後は楽しく食事をし、参加者にはプレゼントが配られました。

連絡先 : Jacques Obriet, comite.audois.mvtpaix@orange.fr

記念行動 in サン・マロ: 8 月 8 日

ヒバクシャに連帯し、核兵器の廃絶のため 15 人の平和活動家が集まり 8 月 8 日に平和行動に取り組みました。ヒロシマ・ナガサキから 75 年の今年、核開発競争を終わらせる必要性を通行人に訴えました。代表のルネットは「フランスを含め 7 つの国がいまだに核兵器禁止条約を批准していない」と訴え、過去 5 年間でフランスは核兵器予算を 30.5 億から 70 億ユーロにまで増大させたと告発しました。土曜日の夜から日曜日にかけては、レンヌからロラン・ニベがオンライン世界大会に参加し発言しました。



連絡先 : Reinette reinethore@orange.fr

ヒロシマ・ナガサキ 75 年記念集会 : コレーズの平和活動家たちはリウール地方のマガリ海岸で恒例の集会

コレーズ平和運動委員長のスピーチと美味しい食事ののち、近くにキャンプをしに来ていた行楽客も加わって 20 名ほどで 75 個のキャンドルに火を灯しました。キャンドルは平和への願いとともに、原爆の犠牲者を悼んでホープ川の土手に灯されました。ビデオはこちら :

https://www.youtube.com/watch?v=bRv63yUIQ_8

連絡先 : Henri Vacher, mouvementdelapaix19@gmail.com

「平和はブルージュの湿地で育まれる」 : ブルージュ平和運動

8 月 6 日の午後 3 時から 6 時半まで、湿地で涼みながら詩や音楽、彫像、絵画、物語を楽しむ「平和の波」がブルージュをめぐりました。

連絡先 : Jeannick, jeannick.lepretre@laposte.net

イタリア

アビアーノ米空軍基地でのヒロシマデー記念行動

TGR Friuli Venezia Giulia –

ヒロシマデー行動はイタリアのアビアーノ米空軍基地前で取り組まれました。平和活動家たちは虹のピースフラッグを持ち寄り、1945

年8月6日と9日に何が起きたの

か思い起こしました。今年の行動は人数が制限され、ソーシャルディスタンスをとりマスクをして取り組まれました。コロナウイルスは、私たちに目に見えない何か脅威となり得るということを教えてくれました。核の脅威のように、見えないけれども存在します。F16 戦闘機と8つの航空機が訓練のため数回飛行していました。（気候変動問題にとりくむ）「未来のための金曜日」の19歳の若い活動家も参加。

連絡先：：Lisa Clark（IPB 共同会長）lisa.clark@libero.it



イギリス

核軍縮キャンペーン（CND）の2020年「平和の波」

ヒロシマ・ナガサキから75年を記念する「平和の波」行動に参加することができて大変嬉しく思います。CNDはサポーターたちとともに原爆投下時刻（イギリス時間）に黙とうをしてその瞬間をきざみました。誰もがダウンロードできるように桜のイラストのポスターを作成し、サポーターへそのポスターをどこか静かで平和的な場所に原爆投下時刻に掲げ、黙とうするよう呼びかけました。また黙とうの中でヒロシマとナガサキの惨状を思い起こし、これらを引き起こした大量破壊兵器が世界からなくなるようより一層行動を進めていく決意を新たにしました。

CNDは「平和の波」の一環として全国で主に2つのメインイベントを開催。両方ともオンラインで何百人もが視聴しました。核兵器の犠牲者を追悼する音楽の夕べとともに、日米の活動家にそれぞれの国で原爆がどのような影響をもたらしたか語ってもらうウェビナーを開催しました。さらにイギリス国内のCND支部は直接またはオンライン追悼式、集会、キャンドルの小舟流しなど様々なイベントを開催しました。（詳しくは [PWN Vol 1-3](#) をご参照ください）

連絡先：：Sara Medi Jones, Campaigns Officer, Sara.Medi.Jones@cnduk.org

戦争ストップ連合: #Hiroshima75 – シャバカ・ハッチングスとストップ・ザ・ウォーがヒバクシャを悼んで曲を制作

13万5千人の人々が殺害されたヒロシマ原爆投下から75年となる今年、戦争ストップ連合はジャズ演奏家であるシャバカ・ハッチングスの演奏でこれを記念しました。

今回、1945年の破壊的な出来事を思い起こし新曲を制作しました。これらの楽曲は戦争ストッ

プ連合の SNS でライブ配信されます。

連絡先 : : STWC, office@stopwar.org.uk

ウェビナー “原爆を背負って” by グレーターマンチェスターCND (8月9日)

400 人以上が視聴し、良かったとの感想が寄せられています。

ウェビナーの記録はこちらで視聴できます: <https://gmdcnd.com/videos/>

連絡先 : : Jacqui Burke, gmdcnd@gn.apc.org

アルジェリア

平和へのバナー (オンライン) in ムスタガネム 8月9日

2016 年に中東プロジェクトとレイ・マツミヤさんのご協力で私が日本で平和教育トレーニングを受けて以来、たくさんの生徒や教師が学校で平和行動に参加しました。行動の最後には平和へのバナーを作成しました。ウェブサイト

(website.www.oleanderpeacemuseum.simplesite.com) に順次アップロードしていく予定。

連絡先 : : Saleha Guerroudj, gsaleha@hotmail.com

ナイジェリア

「平和の波」行動 by 世界青年平和機構

連絡先 : : Fidelia Onwuekwe, fidelejimoleonwuekwe@yahoo.co.uk



アメリカ合衆国

#StillHere (#まだここに) : 75 年の共有された核の遺産: 8月6日—9日(国内オンラインイベント) と 各地のイベント

この期間は核の時代の始まりとともに私たちがいまだに直面している核の脅威について学びまし

た。しかし、希望はあります。人々が脅威に気づき始め、リーダーたちに変化を求めています。変化のため、行動し続けたいという方は[私たちの連携団体](#)をご覧ください。それぞれの団体がどのような問題に取り組んでいるかの情報は [こちら](#)。 [ヒバクシャ国際署名](#) も集めています。オンラインイベントの様子は [こちらから \(YouTube\)](#)。

#まだここにイベントのオンラインの取り組みの様子

1. 8月6日の [録画](#); [スケジュールとスピーカー](#)
2. 8月9日の [録画](#); [スケジュールとスピーカー](#)

その他アメリカ国内の100ものイベントを [地図](#) と [カレンダー](#) にまとめました。

連絡先: : Lilly Adams, info@hiroshimanagasaki75.org

エミリー・ルビノ, ピースアクション

皆さんこんにちは、「平和の波」行動が終了し、皆さん一息ついていらっしゃる頃かと思います。私たちの取り組みの録画と新聞記事は以下のウェブサイトにあります。

<https://www.panys.org/2020-07-28-hiroshimanagasaki-75/>. ニューヨーク州内だけでも約15のイベントが開催されました。

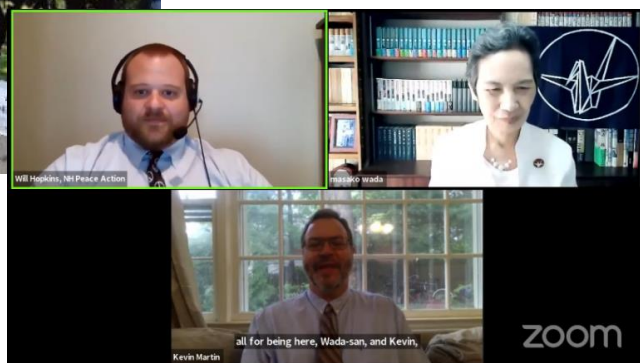
連絡先: : Emily Rubino, emily.rubino@panys.org

マサチューセッツ・ピースアクション: ヒロシマ・ナガサキ記念行動への参加に感謝



先週、平和活動家としてヒロシマ・ナガサキの被爆から75年を記念するため、ポスター、キャンドルなどをもち寄り集まりました。75年前の惨劇を忘れず、それらを引き起こした核兵器の廃絶を訴えました。アンドーバーからフォールリバー、ケンブリッジに至るまで対面とオンラインで集まり、地元の軍需企業である

レイセオンにも対峙して核兵器の開発をやめるよう訴えました。地元でも国際的にもニュースになりました。私たちのメッセージははっきりしています-“核兵器はいらない!”



動画はこちらから: [Hiroshima Day at Raytheon by Skip Shiel](#)



ヒバクシャの方々は核兵器に人生をめちゃくちゃにされ、75年間核兵器の廃絶を訴えてきました。今度は私たちが、それを引き継ぎ核兵器がなくなるまで闘い続ける番です。

マサチューセッツ・ピースアクションは、CodePink, WAND, and WILPF など進歩的な団体と連携し、火曜日にはきたる 2020 大統領選にむけドナルド・トランプ大統領と民主党の候補者であるジョー・バイデンの両候補に“平和へのビジョンと真剣な核軍縮”を政策に取り入れるよう求める 4,800 人分の署名を届けました。詳しくは [こちら](#)。

朝夕のケンブリッジでのイベントについては [こちら](#)から読めます。録画は [こちら](#)

連絡先: : Cole Harrison, info@masspeaceaction.org; Sofia Wolman, sofiawolman@gmail.com

マンハッタンプロジェクト・グローバルオンライン平和集会 8月5日 9:30 (EST)

ニューヨークを拠点とする復員軍人平和の会 34 支部、祖母たちの平和艦隊、ヒバクシャ・ストーリーズ／青年アート、NYC メトロ怒れる祖母の会、戦争抵抗者同盟、パクス・クリスティ、ピースアクションニューヨーク州、リボン・インターナショナル、緑の党、戦争を超えた世界、核兵器禁止



核時代平和財団、コードピンク、カトリック・ワーカー、核のない世界を目指すマンハッタンプロジェクトの共催。この連合体は日本国民の憲法 9 条擁護の闘い、日米軍事同盟と核の傘反対の闘いを支援します。核兵器は二度と、どんな状況に置いてもどの国に対しても使われてはなりません。

せん。被爆者の世界の人びとへの平和のメッセージは、核兵器のない世界をつくろうと呼びかけています。

連絡先 : : august5mp@gmail.com

首都圏ヒロシマデー記念バーチャル集会 by ヒロシマ・ナガサキ平和委員会

8月6日、39回目の首都圏広島デー記念集会（バーチャル）では、広島、長崎の惨状を描いた映画「Lost Generation」を上映します。続いて「Choosing Life」著者のレスリー・スーザンが、1945年と46年に広島と長崎で撮影を指揮し、後年映画の公開に努力した自分の父について話し、ピーター・カズニック教授が後援し、風下住民のデニス・ネルソンがまとめを述べます。8月9日はリバティ・プラザで「キャンドルライト集会」が9:45pmから行われます。参加者はキャンドル、ピースリボン他プラカードなどを持ち寄ってください。10:02pmに黙とうします。

連絡先 : : John Steinbach, johnsteinbach1@version.net or (703) 822-3485

PEAC: ヒロシマ 75 年記念「平和+アート+音楽」グローバル放送

この歴史的な記念日に、私たちは、自分たちのチャレンジは繋がっており、全ての人々が自由にならない限り誰も自由にはなれないということを認識して、「急進的変革が平和をもたらす」という課題への理解を共有します。10時間の音楽、アート、革命的愛に満ちたプログラムをお届けします。人々を分断させがちなこの時期、集まって優しい時間を共に過ごしましょう。メールを書いたり仕事をしながらでも聴くことができ、あちこち飛んで歌やダンスを楽しむこともでき、3つのライブウェビナーに参加することもできます。PaperWaterのライブ2部作やローリングストーンズプロジェクトのティム・レイスのライブにもご参加を。有名無名のパフォーマーたちが参加しますが共通しているのは彼らが正義と平和に献身し打ち込んでいることです。記念行事であると同時に人間の魂の強靱さと粘り強さへの称賛です。プログラムはアラスカの先住民兄弟姉妹の祈り、そしてホピ・ネーションの日の出のセレモニーで幕を開けます。お見逃しなくよう。

連絡先 : : Rebecca Irby, rebecca@peacinstitute.org

ニューヨーク州ピースアクション主導のイベント

みなさんの支援に感謝します。この1週間、アメリカによるヒロシマ・ナガサキへの原爆投下75年を記念する行動を行ってきました。8月6日のバーチャルプログラムのビデオはこちらから。<https://www.youtube.com/watch?v=Klsc2uKgG1s&app=desktop>

以下にニューヨーク州内のピースアクション各グループによる行動を報告します。今後の私たちの優先課題の一つはニューヨーク州上院議員、ロングアイランド選出議員と候補者たちに対して、アメリカが核兵器禁止条約に調印するよう働きかけることです。

北部

ジェネシーバレー市民平和の会 (GVCP)は、46 回目となる恒例のヒロシマ・ナガサキ**キャンドルライト集会** を、エイヴォンで行いました（後記参照）

ハドソン北部ピースアクションは、Facebook 上で**バーチャル対話集会を開催**。ジョン・ハーシーの「ヒロシマ」朗読、スピーチ、被爆者の証言、広島ビデオ、写真など。

西ニューヨーク平和センター、先住民女性イニシアチブ、Nekanesakt, ピースアクション
ニューヨークは、バッファローで**記者会見** を開催し、核のない未来と先住民の主権の完全回復と補償を求めました。

南部

ロングアイランドでは 75 周年の**生中継オンラインイベント**を開催。シェルター・ロックのユニタリアン・ユニバーサリスト教会、平和の代替案を求めるロングアイランド連盟などが共催。

ピースアクション・スタッテンアイランドとスタッテン・アイランドユニタリアン教会は、夏の日曜学校シリーズの一環として広島、長崎の原爆写真の**バーチャル展示会**と関連文書の朗読を行いました

戦争抵抗者同盟は、20 枚の原爆写真パネルを展示する行動をニューヨーク市内のトムキンス・スクエア公園で行いました。核軍拡競争の歴史、原発との関係、核兵器と原発反対の歴史的デモについての展示も。オンラインのスライドショーは[こちら](#)。

連絡先：：Peace Action New York State: info@panys.org

「ノーモア・広島、ノーモア・長崎、世界が平和を誓った 75 周年」8 月 8 日（オンライン）

被爆二世の森川聖詩が核兵器と原発との関連性、再生可能エネルギーへの希望を語り、4 人のパネリストとともに、死者の声に耳を傾け、私たちが未来に向けてできる事は何かを一緒に考える時間を共有。プログラムの録画は[こちらから（日本語）](#)：

連絡先：：Tanaka Yasuyo (Social Practice Artist), yasuyotanaka@yahoo.com

ジェネシーバレー市民平和の会 (GVCP): 8 月 5 日

恒例のヒロシマデー集会をエイヴォンのサークル・パークで行いました。

ビデオはこちら：

https://www.thelcn.com/multimedia/hiroshima-vigil-in-avon-aug-5-2020/video_244e44d4-dab7-11ea-a2ff-c713d9f7a06d.html



リビングストン・カウンティ・ニュース紙の報道はこちら： [Article and photos:](#)

スペクトラム・ニュースの集会についての報道はこちら： [the vigil:](#)

連絡先：：Dr. Arnold Matlin, AHMatlingvcp@igc.org

「核兵器問題の人々に想起させるための抗議行動」8月9日バーモント州ブラトルバラ

ブラトルバラ・リフォーマー紙クリス・M・アイズ記者 cmays@reformer.com



少人数の活動家が核兵器と過度な軍事支出に抗議し、広島・長崎原爆投下 75 年を想起するプラカードを掲げてメインストリートを行進しました。ダマーストンの New Leaf CSA のイーシャ&エリザベス・ウィリアムズ夫妻の呼びかけで、日曜日 11 人がブラトルバラ広場にあつまり、ブラトルバラ・フード・コープまで行進。イーシャさんは「何人集まるか不安だったけど、すごい」と喜び、「平和問題はトレンドでもないけど、これだけの人が集まった」とクルト・ダイムズさんは語りました。

ニューハンプシャー州メリデン会衆派教会：記憶と世界平和の決意を新たにする礼拝：8月9日 10:00 より

この礼拝を、広島・長崎原爆投下 75 年を記念する世界「平和の波」の一環として行うことができて嬉しく思います。心には重い記憶ですが、世界中で平和と正義のために起こす波に参加させていただき感謝します。礼拝では厳粛にこの日を記憶し、核兵器のない平和で公正な世界の私たちの決意を新たにします。参加者には「ヒバクシャアピール署名」を呼びかけます。

連絡先：：Revs. John & Susan Gregory-Davis, Co-Pastors, copastors@meridenucc.org

マサチューセッツ州ニュートン（ボストン近郊）：8月6日午後5時 by WILPF ボストン支部

WILPF ボストンは愛媛県から贈られた千羽鶴を大いに活用して被爆者を思い起こします。

WILPF と他の平和活動家は千羽鶴を数百個のメッセージ付きバッジに作り、ボストン郊外で行われた 4 つの集会で参加者に配布しました。そのうちのひとつがニュートンでの 8 月 6 日の集会

で 30 人が参加。8 月 9 日にウォータータ

ウンで行われた集会には 60 人が参加し

ました。WILPF メンバーはこの厳粛な

記念日についてのテレビ番組にも出演。

集会のもようとニュートン自由図書館の

中庭で 8 月 5 日から 10 日に行われた

WILPF 原爆展の様子を 3 つの新聞が報

道しました。11 枚のパネルに折り鶴を

飾り、1945 年からの歴史、国連の誕生、

サダコの物語を展示しました。被爆



者問題と核兵器禁止条約の情報へのリンクとメッセージを付けた折り鶴のバッジも配布しました。「みなさんからいただいた折り鶴でメッセージを広げることができ感謝しています。より多くの人びとが耳を傾けてくれました。」

連絡先：： Eileen Kurkoski, WILPF Secretary eileen4wilpf@gmail.com

オハイオ州コロンバス：パフィン・ウェスト財団の 75 周年記念コンサート

広島・長崎原爆投下 75 年を記念するコンサートを開催しました。以下から視聴できます。

<https://youtu.be/MNbVAtb7Ths>

https://www.youtube.com/watch?v=Mx-bMV_SBhA&t=734s

まだ編集の第 1 版ですが、歴史背景も含めた全体的なプログラムにして公開します。

連絡先：： Mark D. Stansbery, walk@igc.org

WILPF デモイン支部：日本の平和の鐘をつく行事・8 月 6 日（オハイオ州デモイン）

8 月 6 日、WILPF デモイン支部は地元の平和グループとともに日本の「平和と友情の鐘」を鳴らす集会を行いました。この鐘はアイオワ州議会堂の向いにあるイーストコートに置かれています（注：1960 年代に山梨県から贈呈されたもの）短いセレモニーのあと、参加者は鐘の台座に献花し、75 回鳴らしました。



「千羽鶴の由来を述べた紙を付けた折り鶴を参加者全員に配布し、素晴らしい折り鶴を贈ってくれた日本の友人たちに感謝を捧げました。WILPF メンバーはセレモニーの後、公共図書館の前に移動して折り鶴を配布しました。8 月 6 日の行動の写真はこちらから： [photos](#) ビデオも 2 本製作しました

→ <https://youtu.be/jPLd3WfC7w8>
<https://youtu.be/wo1cJhRHJRg> 地元テレビ 5 チャンネルでの報道→[TV station, channel 5.](#)

→ <https://youtu.be/jPLd3WfC7w8>

<https://youtu.be/wo1cJhRHJRg> 地元テレビ 5 チャンネルでの報道→[TV station, channel 5.](#)

連絡先： jancorderman@msn.com

平和の鶴のディスプレイとサダコ物語：
カリフォルニア州イーストベイ WILPF

日本の被爆者から千羽を超える折り鶴をいただき、私たちは米国による広島・長崎原爆投下 75 年を記念するショーウィンドーのディスプレイを 2 か所作りました。ひとつはバークレーにあるペガサス書店です。折り鶴を糸に通してディスプレイを企画したメンバーと記念写真を撮りました。「平和の波」の活動ありがとう。素晴らしいアイデアです。



連絡先：Sandy Thacker, Sandy@tio.net

WILPF パロ・アルト支部：折り鶴のインスタレーション

フェイスブックページにアップしたビデオをごらんください。

<https://www.facebook.com/PPAWILPF/videos/1345811448956057/>.

連絡先：WILPF Peninsula Palo Alto, wilpf.peninsula.paloalto@gmail.com

連帯のための折り鶴：ジュン・ハマモト

ヒロシマ・ナガサキ 75 年を思い起こすためのビデオを製作しました。被爆者のジャック・ダイリキさんのインタビュー、シャーリー、ブライアン、アキコ、リリー・ベルの演奏、アキコのオリジナルストーリー、亡くなった家族や祖先を偲ぶ日本の盆踊りなどが見られます。ジュンが折り紙の折り方を説明しました。プログラム全体は[ここ](#)から。



ウェブサイトもご覧ください。→[link on our website](#) みなさんの参加に感謝します。

ジャックさんの被爆体験を詳しく知りたい人は、ウェブサイトの[こちら](#)をお読みください（

NextGen JCA Peace Day: 75 years after the bombings of Hiroshima)

連絡先：Jun Hamamoto, jhamamoto@gmail.com

サダコ平和デー：核時代平和財団（オンライン）（カリフォルニア州）8 月 6 日午後 6 時

18:00 から「サダコ平和デー」をオンラインで開催し、Facebook ページでライブ中継。詩、音

楽で交流し、広島・長崎への米国の原爆投下 75 周年を振り返ります。胎内被爆者のカノウトシ
ハルさんが基調講演しました。録画は[こちら](#)から。発言者の[詳細情報](#)も。

連絡先：：Rick Wayman, rwayman@napf.org

平和の家：ヒロシマ・ナガサキ 75 年記念式典: 8 月 6 日午前 8 時 30 分（オレゴン州アシュラン ド）

1998 年から平和首長会議に参加するアシュランド市の記念行事のビデオは以下。

<https://osdinitiatives.com/video/Ashland-OR-Peace-Wave.mp4>

グローバルな「平和の波」を組織してくださってありがとう。

連絡先：：Estelle, evoeller@charter.net or Herbert herbertrothschild6839@gmail.com

「ランニング・ガール」（短編映画）上映：（カリフォルニア州オルバニー）スネーク&ロッド シアター

「平和の波」を記念して今週製作した「ランニング・ガール」を、以下からご覧ください。

<https://vimeo.com/445342666/96d70eff32>

私のウェブサイトからもリンクしています。 <https://www.snakeandrodtheatre.org>

連絡先：：Joan Bernier, bernietree@gmail.com

非暴力行動のためのグラウンドゼロセンター：トライデント原潜のあるキトサップ・バンゴール 海軍基地封鎖行動：8 月 10 日（ワシントン州）

海軍基地（核ミサイル配備）の軍人に核ミサイル発射を拒否するよびかける行動に 25 人が参加
して、通勤時の基地へのゲートを封鎖しました。活動家らはメインゲート前に 6 時 45 分に集合
し、7 時 5 分に 4 人の「ピースキーパーズ」が道路に入って車の通行を止め、その後ろで 6 人が



道路に横断幕を広げて立ちました。横断幕には「ヒロシマ・ナガサキを繰り返すな!」、「私の名前で大量殺りくを繰り返すのは許さない」、「核のない世界を目指す平和行進・黒人の命は大事だ」と書かれていました。同時に 3 人がメインゲート近くの立体交差点で「軍事優先主義を止めよ、ペンタゴンへの資金投入停止を」の横断幕を掲げました。

連絡先 : Mary Gleysteen (360) 265-1589, Leonard Eiger (360) 375-7134, outreach@gzcenter.org
Glen Milner (206) 365-7865

オレゴン州コーバリス市（平和首長会議加盟都市）リンダ・リチャーズ

Antiatom のみなさん、世界中で行われたこの行動に参加できたことに心から感謝します。平和首長会議に参加するオレゴン州コーバリス市では、オンラインで被爆者を称える国際学際ワークショップを開きました。プログラムは以下です。

<http://blogs.oregonstate.edu/downwinders/events/making-the-unseen-visible-2020/>

コーバリス全体の報道は[こちら](#)。オレゴン州メッドフォード在住の被爆者タムラ・ヒデコさんの [Democracy Now](#) でのインタビューもぜひごらんください。生きているうちに世界から核兵器を廃絶したいという願いが、サダコの願いのように折り鶴の羽根にのせて広がりますように。ほかに、核のない世界財団、核を超えた世界、ローザルクセンブルク財団、IPPNW が作成したウラニウム地図 ([Uranium Atlas](#)) も必見です。広島市と長崎市の記念式典をオンライン視聴し、Zoom のセッションにもいくつか参加し、感銘を受け鼓舞されました。みなさんの活動に感謝。
連絡先 : : Linda Richards, atomiclinda@gmail.com

国際組織と国際キャンペーン

国際平和ビューロー : 2020 年ショーン・マクブライド平和賞を核兵器廃絶のための「国際ヒバクシャ署名運動」に授与

IPB は 8 月 4 日、[2020 年マクブライド平和賞](#)を、ヒバクシャ国際署名運動とブラック・ライブズ・マターに授与すると発表しました。フィリップ・ジェニングズ共同会長が 8 月 9 日の原水爆禁止 2020 年世界大会ナガサキデーで祝辞を述べ、これを受けて署名連絡会代表の田中熙巳さんが決意表明しました。

8 月 5 日には「[ヒロシマ・ナガサキから 75 年—核兵器のない世界をつくるのは今（ウェビナー）](#)」を開催。被団協の和田征子、ベアトリス・フィン（ICAN）、ジェレミー・コービン（英労働党前党首）が参加しました。

IPPNW と IPB がヒロシマ・ナガサキ原爆投下 75 年にあたり共同声明を発表
共同声明本文は[こちら](#)。

「ヒロシマの誓い」 8 月 9 日に世界で特別公開 : IPPNW、IPB、ICAN の共催

サーロー節子さんの半生を描いた映画。連絡先：：IPB, info@ipb-office.berlin



核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）：被爆 75 年特別ウェブサイト開設

原爆投下 75 年を記念して ICAN は[特別ウェブサイト](#)を開設し、記念行動、政府への働きかけの資料、被爆者の証言、原爆展示写真などを掲載しました。8 月 9 日には被爆者の田中熙巳さんの[インタビュー](#)を公開。田中さんはこのなかで人生をかけた活動が意味したもの、核兵器禁止条約と若い世代への期待を語っています。

連絡先：：ICAN, admin@icanw.org

戦争を超えた世界：「核兵器廃絶の障害」ウェビナー

「平和の波」の期間に「核兵器廃絶の障害と米ロ関係」ウェビナーを開催。以下で公開中。

<https://worldbeyondwar.org/video-obstacles-to-nuclear-abolition-a-discussion-with-david-swanson-alice-slater-and-bruce-gagnon/>

連絡先：：Alice Slater, alicejslater@gmail.com

殺りくではなく癒しをー平和のための国際断食行動：8 月 6 日～8 月 9 日

世界で何百万人もが飢餓に苦しむ一方で核兵器につぎ込まれる膨大な資金を断食の中で告発し、断食中の食費を困窮者救援のチャリティーに寄付しました。英国防省前の断食行動に参加したマーク・モーガンさんはこう語っています。「みなさんの素晴らしい平和の波行動の成功を確信しています。私の断食行動も終わりに近づき、多くの人がフォローして



くれ、国際的な対話ができました。みなさんからいただいた平和の団扇と T シャツを着て英国防

省前で行動しました。残念ながら CND のバナーが歪んでいますが。原水協のみなさんによろしく。」

連絡先 : Marc Morgan, marcwmorgan@btinternet.com

UNFOLD ZERO: 核兵器の資金を動かそう

世界中で平和・軍縮団体が広島・長崎への原爆投下 75 周年で無数のイベントや行動を行いました。多くの行動が、核軍拡競争の継続に核兵器産業が果たしている役割に焦点を当て、「[核兵器の資金を動かそう](#)」キャンペーンを推進しました。このキャンペーンは核兵器への予算や投資を削減し、平和、医療、経済再生、気候変動阻止、持続可能な開発を支援することを目指すものです。ナガサキデーにスイスのハイデンで行われたイベントもこの核兵器への資金に焦点を当てました。スイスは 2013 年の立法により連邦政府レベルで核兵器産業からの投資引揚げ政策を実施している 4 つの国のうちのひとつとなり、スイスの年金基金は核兵器産業への投資を止めました。また「核兵器の資金を動かそう」キャンペーンに協賛する多くの議員がヒロシマ・ナガサキデーの記念行動に参加しました。核不拡散軍縮議員連盟 (PNND) 共同議長のエド・マーキー米上院議員はヒロシマデーに[声明](#)を発表し、アメリカ政府が「1945 年 8 月の出来事を決して繰り返さないよう」求め、核兵器予算を削減して再生可能エネルギー、医療、教育、持続可能な経済に資金を転換するよう呼びかけました。もう一人の共同議長であるスコットランド議会議員のビル・キッド氏はスコットランド議会に[ヒロシマ・ナガサキ 75 年特別決議](#)を提案。その中で核兵器使用が引き起こす人道的影響を強調しました。

ヒロシマ・ナガサキを記憶する一週間に際し、同キャンペーンはソーシャルメディア上で多くの軍縮・平和活動家による[自撮り写真とメッセージ](#)を掲載しました。

連絡先 : info@unfoldzero.org



核兵器に投資するな (Don't Bank on the Bomb)

世界中でヒロシマ・ナガサキの惨劇から 75 年を記憶する行動が行われる中、「核兵器に投資するな」キャンペーンは、政府、金融機関、人々によるキャンペーンの[概要](#)をまとめました。

金融機関も核兵器反対の声：広島銀行は核兵器を含む非人道兵器の製造・開発に関わる企業への投資を[禁止する方針](#)を発表しました。他にも [Zevin Asset Management](#) などの金融機関が核兵器

のない世界にどのように貢献するかを発表し、記念行動に加わりました。

核兵器禁止条約にさらに 4 か国が批准：8 月 6 日にアイルランド、ナイジェリア、ニウエが、8 月 9 日にはセントクリストファーネイビスが核兵器か禁止条約に批准し、条約の発効までに必要な批准国はあと 6 カ国となりました。

サーロー節子さんの核兵器とのたたかい：カナダ在住で 2017 年にノーベル平和賞を受賞した広島の被爆者サーロー節子さんは、カナダ核兵器反対ネットワークに参加して全国核兵器投資引揚げキャンペーンを開始。ニューヨークタイムズが[インタビュー](#)を掲載しました。

おすすめの記事：[「原爆の娘たち：75 年を経て原爆を考える」](#)は、核兵器、人種差別、家族との関わりについて、そして被爆者自身の公民権運動と現在の「黒人の命は大事だ」運動につながる闘いについての素晴らしい物語です。

連絡先：info@dontbankonthebomb.com



ルネ・ワドロー・世界市民の会会長

世界市民の会を代表して、国連を通じて核兵器の危険性と平和と安全の発展の必要性に対する国民の意識を高めるための皆さんの取り組みに参加できることを嬉しく思います。世界市民の会は、現在の武装国家体制を、人々が平和と安全に暮らせる世界社会へと転換することを目指し、軍縮と安全保障の問題について、独立した政治的分析を行うことを目的としています。

連絡先：[Rene Wadlow](#), rene.wadlow@gmail.com